

◆ 今週のコメント

- ・RSウイルス感染症の報告が先週に引き続き1例(6ヶ月～11ヶ月)あります。本年の累積報告数は35例で、昨年(29例)と比べて多くなっています。年齢階級別にみると、6ヶ月未満の15例が最も多く、1歳未満で80%を占めています。
- ・急性出血性結膜炎の報告が1例(20歳～29歳)あります。昨年は、報告がありませんでしたが、本年の累積報告数は、4例(全て20歳以上)と多くなっています。

◆ 今週のトピックス:〈腸管出血性大腸菌感染症〉

- ・腸管出血性大腸菌感染症の報告は3例(先週追加分1例を含む。)で、本年の累積報告数は50例となり、平成12年～18年の同時期までの累積報告数と比較すると、平成18年について多い報告数となっています。詳細は、トピックスに掲載しています。

◆ 麻しんの発生件数の把握について

- ・平成19年5月25日から始まった、京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数については、別紙「京都市麻しん全数発生報告」に掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・二類:結核 9例(肺結核 8例 その他 1例)(第37週追加分含む)
- ・三類:腸管出血性大腸菌感染症(O157 VT1VT2) 3例(第40週追加分含む)

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.00	123
	② 突発性発しん	0.27	11
	③ 水痘	0.22	9
	③ ヘルパンギーナ	0.22	9
	⑤ 咽頭結膜熱	0.15	6
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

病原体情報

(検体名は、紙面の都合上、咽頭ぬぐい液をNP, 糞便をFC, 髄液をSF, 尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
コクサッキーウイルスB5型(1)	かぜ症候群(第39週)	NP	エコーウイルス30型(1)	かぜ症候群(第39週)	FC
アデノウイルス11型(1)	膀胱炎疑い(第38週)	UR			

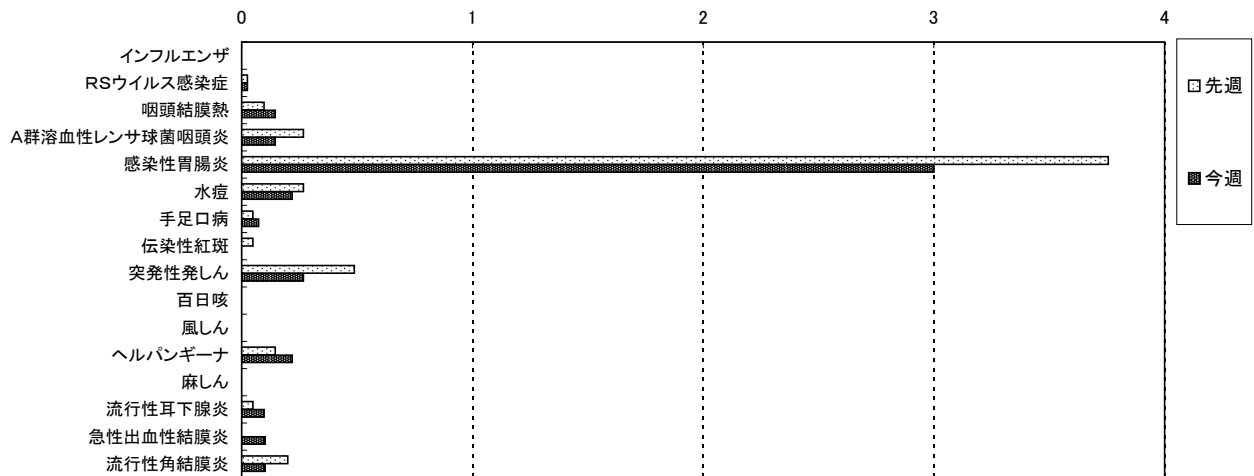
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:〈腸管出血性大腸菌感染症〉 / 京都市麻しん全数発生報告付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

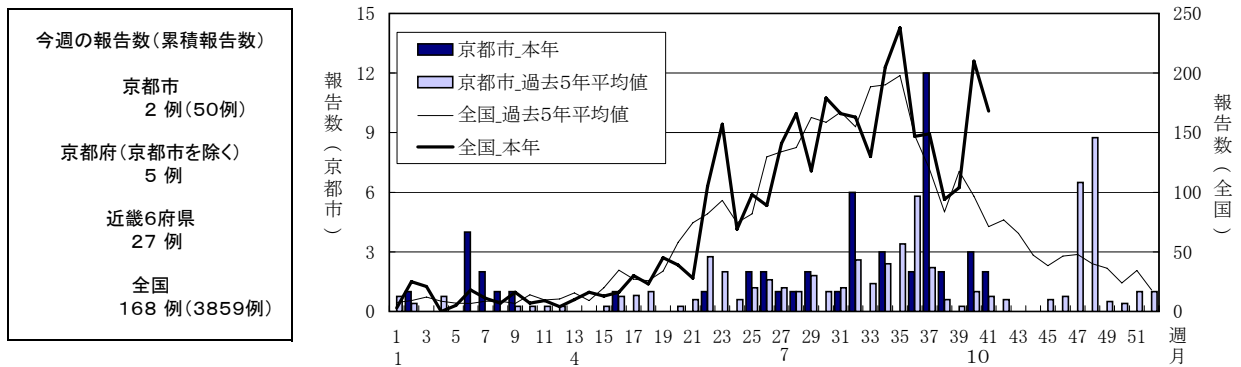
(注)京都市のデータは、平成19年10月22日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第41週)と先週(第40週)の定点当たり報告数の比較

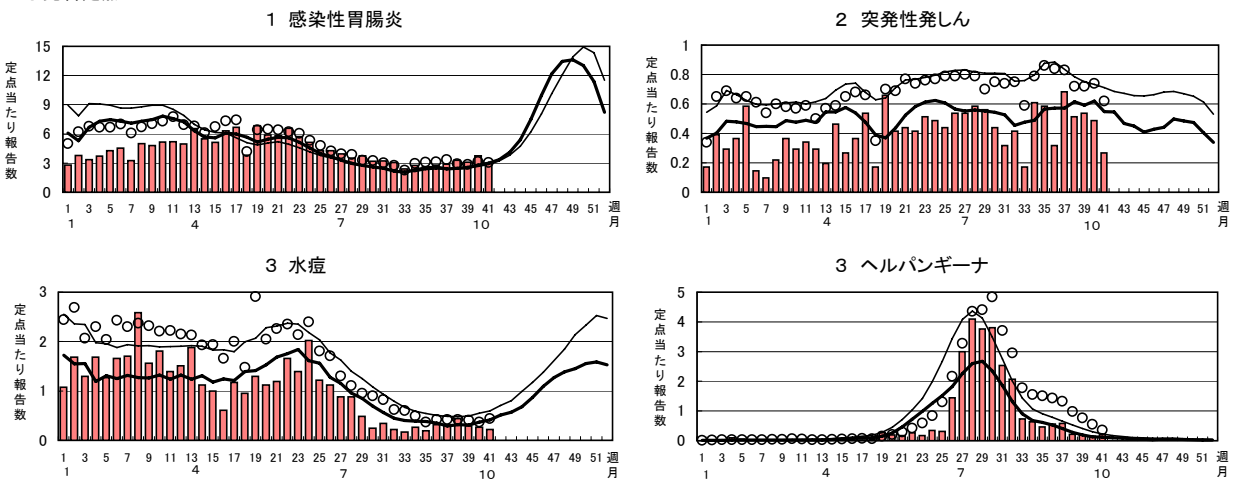


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

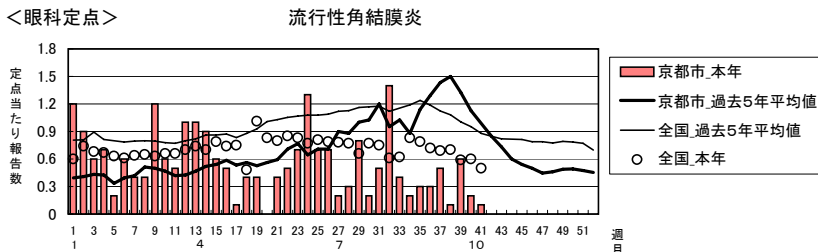


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第41週)のトピックス:〈腸管出血性大腸菌感染症〉

今週の報告は3例(先週追加分 1例を含む。)で、本年の累積報告数は50例となっており、10月14日(第41週)までの報告数で、月別にみると、9月(16例)が最も多く、10月は5例となっています。第1～41週までの累積報告数の年推移をみると、平成18年の51例が最も多く、ついで本年及び平成13年の50例となっています。

年別に第41週までの発生状況をみると、各年、家族内感染(以下、「家族」と「散発」)による感染が大半を占めており、昨年と比較すると、本年は、集団発生(以下、「集団」)が少なく、「家族」での感染が多くなっています。

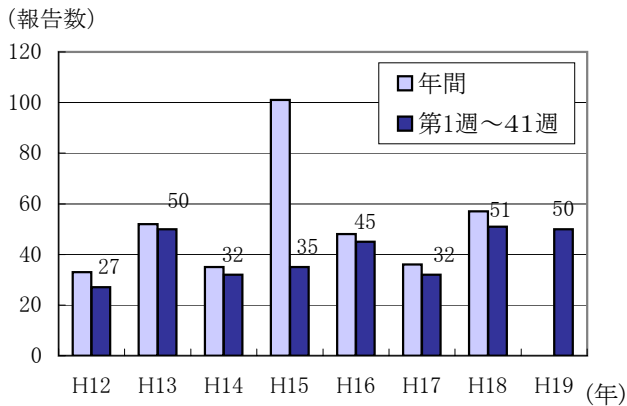
年齢群別にみると、本年は0～9歳が最も多く、ついで10歳代、20歳代、30歳代の順となっており、特に20歳代では「散発」が多く、0～9歳、10歳代、30歳代では「家族」が約半数を占めています。

さらに、平成12～18年の第41週までと比較すると、本年は、10歳代、30歳代、40歳代、60歳代で割合が多くなっています。

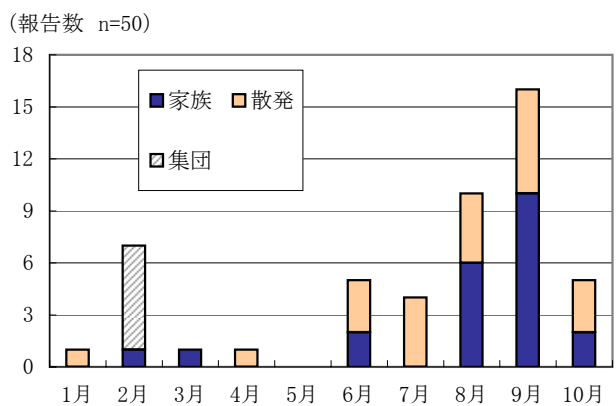
本年の血清型別累積報告数をみると、10月は全てO157(VT1VT2)となっています。

福岡県では4歳児の死亡例が報告されています。また、集団発生は時期を問わず起こる可能性がありますので、今後とも引き続き、ご注意ください。

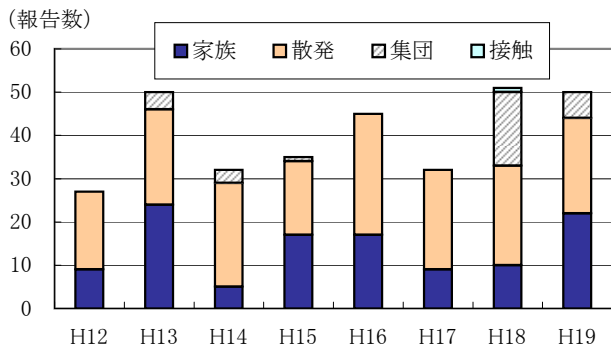
年別にみた年及び累積報告数の推移



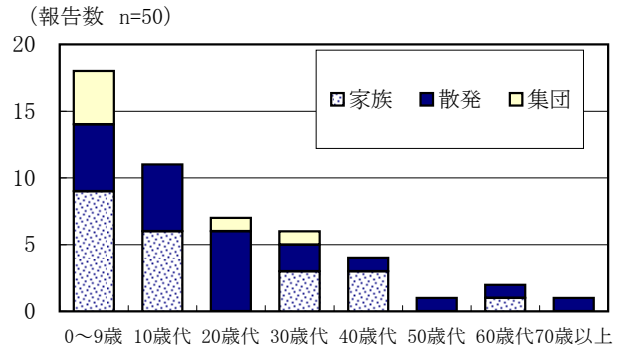
本年の月別発生状況別累積報告数(第1～41週)



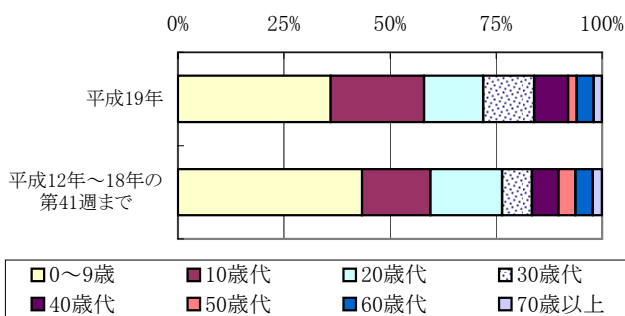
発生状況別累積報告数(第1～41週)の推移



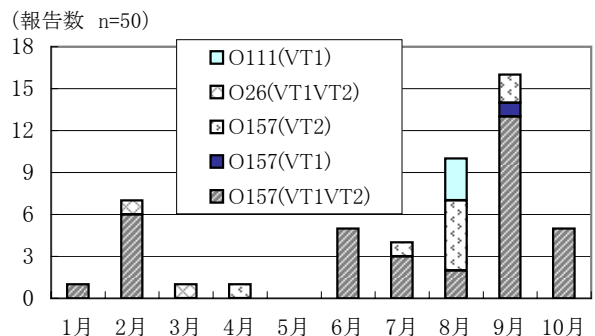
本年の発生状況別年齢群別累積報告数



年齢群別構成割合



本年の月別血清型別累積報告数(第1～41週)



京都市麻しん全数発生報告

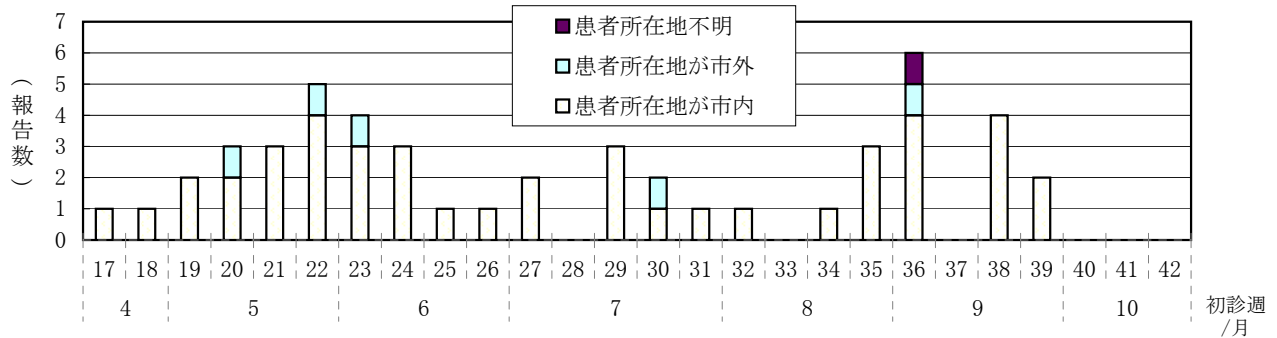
京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数を掲載しています。5月25日から10月21日までの報告を初診週別に集計しています。

1 推移

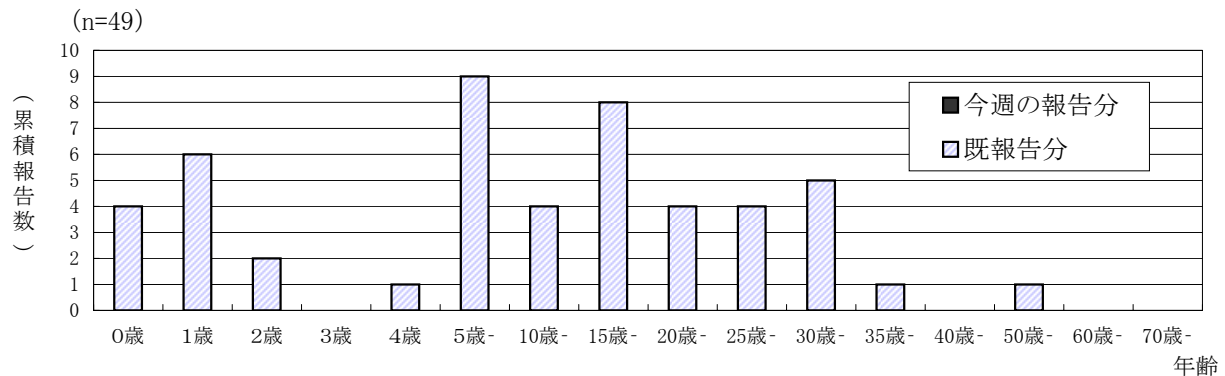
初診週	第38週	第39週	第40週	第41週	第42週	累積報告数 (第17週以降)
今週の報告分	-	-	-	-	-	-
既報告分	4	2	-	-	-	49
合計	4	2	-	-	-	49

2 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (調査開始時～最新週まで)



3 年齢階級別



<参考> 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数:麻しん(小児科定点)41,成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータについて、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月～11ヶ月	3歳	10～14歳

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第41週

疾病,保健所別報告数

平成19年10月8日～平成19年10月14日

データ入手日:平成19年10月22日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計	-	-	-	1	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	1	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	6	3	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	1	11	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	21	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	10	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	1	8	2	-	-	1	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
伏見	-	1	4	3	26	-	1	-	1	-	-	6	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	1	-	31	2	-	-	5	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	1	6	6	123	9	3	-	11	-	-	9	-	4	1	1	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計	-	-	-	0.25	1.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	0.25	1.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	0.33	-	1.00	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	1.50	0.75	-	-	0.50	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	0.33	3.67	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	10.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	3.33	0.33	0.33	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	0.20	1.60	0.40	-	-	0.20	-	-	-	-	0.40	-	1.00	-	-	-	-	-	-
伏見	-	0.14	0.57	0.43	3.71	-	0.14	-	0.14	-	-	0.86	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.25	-	7.75	0.50	-	-	1.25	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	0.02	0.15	0.15	3.00	0.22	0.07	-	0.27	-	-	0.22	-	0.10	0.10	0.10	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第41週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年10月8日～平成19年10月14日

データ入手日:平成19年10月22日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	6	-	-	1	1	1	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	6	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	123	3	18	20	10	3	16	8	5	5	1	5	13	2	14	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	9	-	-	2	-	3	1	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	3	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	11	-	5	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	9	-	1	3	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	4	-	-	1	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級, 疾病別定点点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.15	-	-	0.02	0.02	0.02	-	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	0.15	-	-	-	-	-	-	0.05	-	0.02	-	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	3.00	0.07	0.44	0.49	0.24	0.07	0.39	0.20	0.12	0.12	0.02	0.12	0.32	0.05	0.34	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	0.22	-	-	0.05	-	0.07	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	0.07	-	-	-	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.27	-	0.12	0.12	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	0.22	-	0.02	0.07	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	0.10	-	-	0.02	-	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第41週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年10月22日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)		-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	1	1
咽頭結膜熱		4	5	8	5	4	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		11	10	10	7	11	6
感染性胃腸炎		114	119	135	127	154	123
水痘		13	13	18	12	11	9
手足口病		7	5	3	7	2	3
伝染性紅斑		8	3	-	-	2	-
突発性発しん		13	28	21	22	20	11
百日咳		-	-	-	-	-	-
風しん		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		23	24	9	8	6	9
麻しん (※)		4	-	1	3	-	-
流行性耳下腺炎		9	6	4	6	2	4
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	1
流行性角結膜炎		3	5	1	6	2	1
細菌性髄膜炎 (※)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)		-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-
合計		209	218	210	203	215	174

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)		-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	0.02	0.02
咽頭結膜熱		0.10	0.12	0.20	0.12	0.10	0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.27	0.24	0.24	0.17	0.27	0.15
感染性胃腸炎		2.78	2.90	3.29	3.10	3.76	3.00
水痘		0.32	0.32	0.44	0.29	0.27	0.22
手足口病		0.17	0.12	0.07	0.17	0.05	0.07
伝染性紅斑		0.20	0.07	-	-	0.05	-
突発性発しん		0.32	0.68	0.51	0.54	0.49	0.27
百日咳		-	-	-	-	-	-
風しん		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.56	0.59	0.22	0.20	0.15	0.22
麻しん (※)		0.10	-	0.02	0.07	-	-
流行性耳下腺炎		0.22	0.15	0.10	0.15	0.05	0.10
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	0.10
流行性角結膜炎		0.30	0.50	0.10	0.60	0.20	0.10
細菌性髄膜炎 (※)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)		-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-
合計		5.32	5.70	5.20	5.40	5.40	4.40

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。